

文京区の教育問題がわかる本 「今、文京区の教育が良くないって本当ですか？」を発売

～ 文京区の教育の今がわかる 都心部の子育て世代へ 転居の参考に ～

文京企画(本社:東京都文京区 代表 本庄飛鳥)は、文京区の教育問題が詳しくわかる本「今、文京区の教育が良くないって本当ですか？」を2021年12月14日よりAmazon kindle および楽天 kobo より発売いたしました。

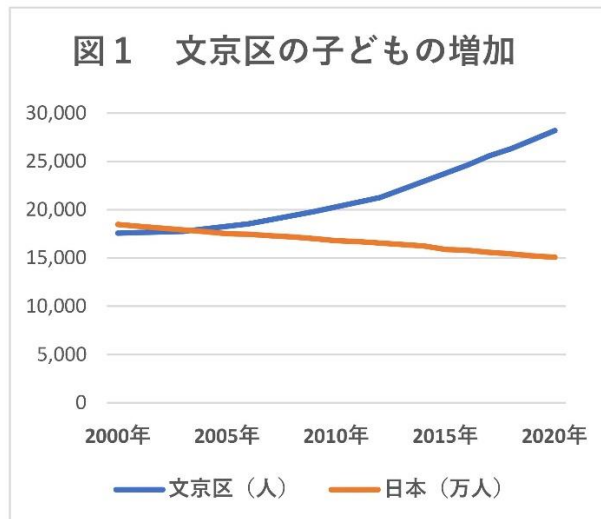


本書の3つの特徴

1. 文京区の教育問題について言及した日本で初めての本
2. 保育園から小学校まで幅広い問題を扱う
3. 公園でのうわさ話であっても、データなどの裏付けをとっている

誕生の背景

文京区といえば教育が良い地域であると有名でした。しかし、図1のように近年の子ども人口の増加は顕著で、20年で1.6倍以上に増え、教育環境の悪化が始まりました。著者および執筆協力者は子育てを通じて、文京区の教育悪化を目の当たりにしました。さらに調査を進めたところ、小学校、保育園、公共施設などに様々な問題点が浮かびあがり、子どもたちが良い教育を受けられていない現状が判明しました。



本書の概要

子どもが急増した理由を取り上げるとともに、それにより引き起こされた教室不足、理科室不足、校庭不足、学童の不足、幼稚園の募集減少、5倍に増えた保育園、園庭の弊害など多数掲載しています。さらには、トイレに長蛇の列、昼休みのない小学校、1学年6クラスのマンモス校、名門小学校の 3S1K といった興味深い話も取り上げています。章間のコラムでは、文京区と学力について、教育学の観点から解説します。

「今、文京区の教育が良くないって本当ですか？」製品概要

発売価格: 1680円 (Amazon kindle) 980円 (楽天 kobo)

販売方法: Amazon の電子書籍コーナー

URL: <https://www.amazon.co.jp/dp/B09NN6KRH7>

楽天 kobo の電子書籍コーナー

URL: https://books.rakuten.co.jp/rk/30579d999a77305097df03806a2a147d/?scid=we_gbm_upc1696

【著者概要】

本庄飛鳥

教育アナリスト。大学院卒。文京区在住の子持ちで共働き。文京区に 10 年以上住み、文京区の変化を肌で感じる中で教育の悪化に気が付く。これ以上の文京区の教育の悪化を食い止めるために、文京区の教育問題を扱った本を出版する。

【本リリースに関する報道お問い合わせ先】

文京企画 代表 本庄飛鳥

e-mail: askhonjyo@gmail.com

<http://smartchildren.info/>

twitter: @asukahonjyo